

地域経済

経済学は西欧に起源を持ち、そこで発展してきた学問分野なので、その理論などには、おのずから西欧的な考え方や制度の一部が暗黙のうちに導入されている。われわれ日本人が経済学を学ぶときに、必ずしもすんなりとその内容を内面化できないのはそのためである。また純経済理論は制度的・文化的・歴史的な側面を軽視しているので、西欧人自身でさえ経済理論にはある程度の違和感を持つ。

地域経済大講座では、伝統的な経済理論のみならず、制度(慣習)・文化・歴史などの分析を基礎とし、経済学以外の社会科学の問題意識や方法も取り入れて、日本、東アジア、南アジア、および西アジアをカバーした研究を行い、それに基づいた教育を行っている。各地域社会の経済的な特徴・論理・構造・発展過程などを明らかにするものが、この大講座の主要な目的である。

以上から明らかなように、経済理論の応用や実証研究に関心のある学生、経済現象の制度的・文化的要因に関心のある学生、日本やアジアの特定地域の歴史や経済現象全般に関心のある学生など、さまざまな関心を持つ学生が、この大講座で研究を行い、経済に関する広く深い理解を得ることができる。